

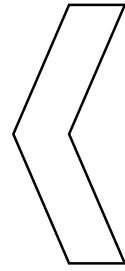
道南太平洋海域スケトウダラニュース

平成18年度 第4号

2006年12月7日

北海道立栽培水産試験場
調査研究部

Tel: 0143-22-2327
Fax: 0143-22-7605



道南太平洋スケトウダラ計量魚探調査結果

調査船金星丸（函館水試）により実施したスケトウダラ計量魚探調査の結果をお知らせします。調査期間中の天候が悪かったことから、計量魚探の反応の強さは、波浪の影響を強く受けているため参考値と考えて下さい。

- ・ 調査期間：平成18年11月27日～12月1日
- ・ 調査海域：渡島～日高支庁管内の水深100～500m太平洋海域

魚群は渡島から日高支庁海域に広く分布
分布水深は150～400m（一部の海域で前回調査時より浅い）
スケトウダラの平均反応量は前回（10月）調査より増加

1. スケトウダラと考えられる魚群は、調査海域の全域（渡島～日高支庁）で広く観察されました。渡島海域では189海区、胆振側では182、184および185海区、日高支庁では166および172海区に比較的強い反応が観察されました（図1）。
2. スケトウダラと考えられる魚群は、水深150～400mの範囲に観察されました（図2～4）。特に南茅部沖のCおよびD線では、水深150m前後の浅海域まで魚群が入り込んでいました（図2、3）。ただし、海域によっては水深200m前後の反応は前回（10月）と同様、スケトウダラ未成魚が混じっていると考えられます。
3. 調査期間中、魚群は昼間でも海底から10m以上離れて分布している場面が多く観察されました（同じ時期の調査としては平成15年の分布に似ています）。今後、魚群がより沿岸域に入り、海底に接するようになる12月中旬頃から漁獲が増加していくと考えられます。
4. スケトウダラの平均反応量は前回（10月）調査より増加しました。
5. 次回の調査は1月中旬を予定しています。
6. スケトウダラニュースはインターネットで、栽培水試のホームページからもご覧になれます。

ホームページアドレス

<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/saibai/suketoudara.htm>

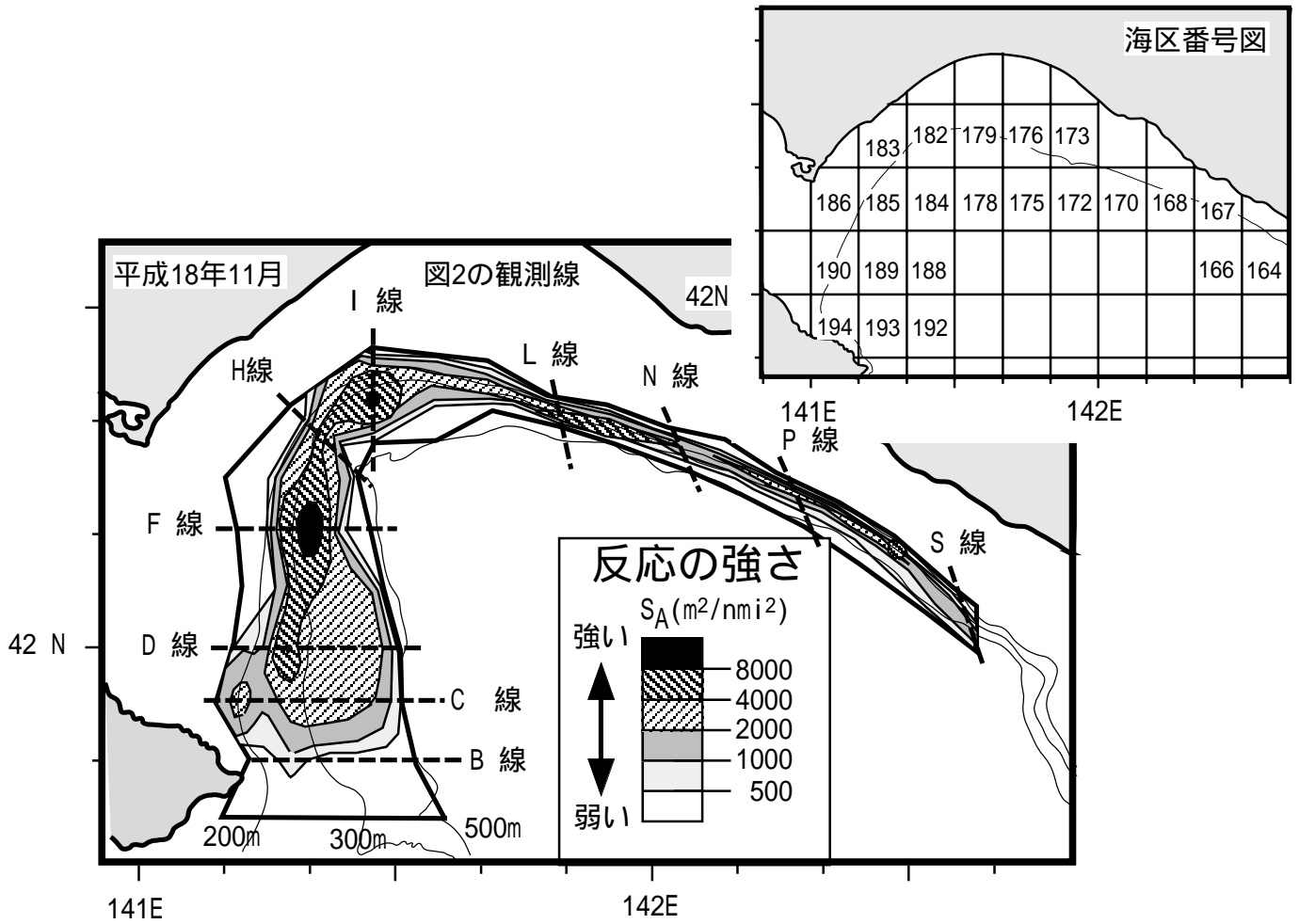


図1. 調査海域における魚群の分布
黒ワクの中が調査範囲

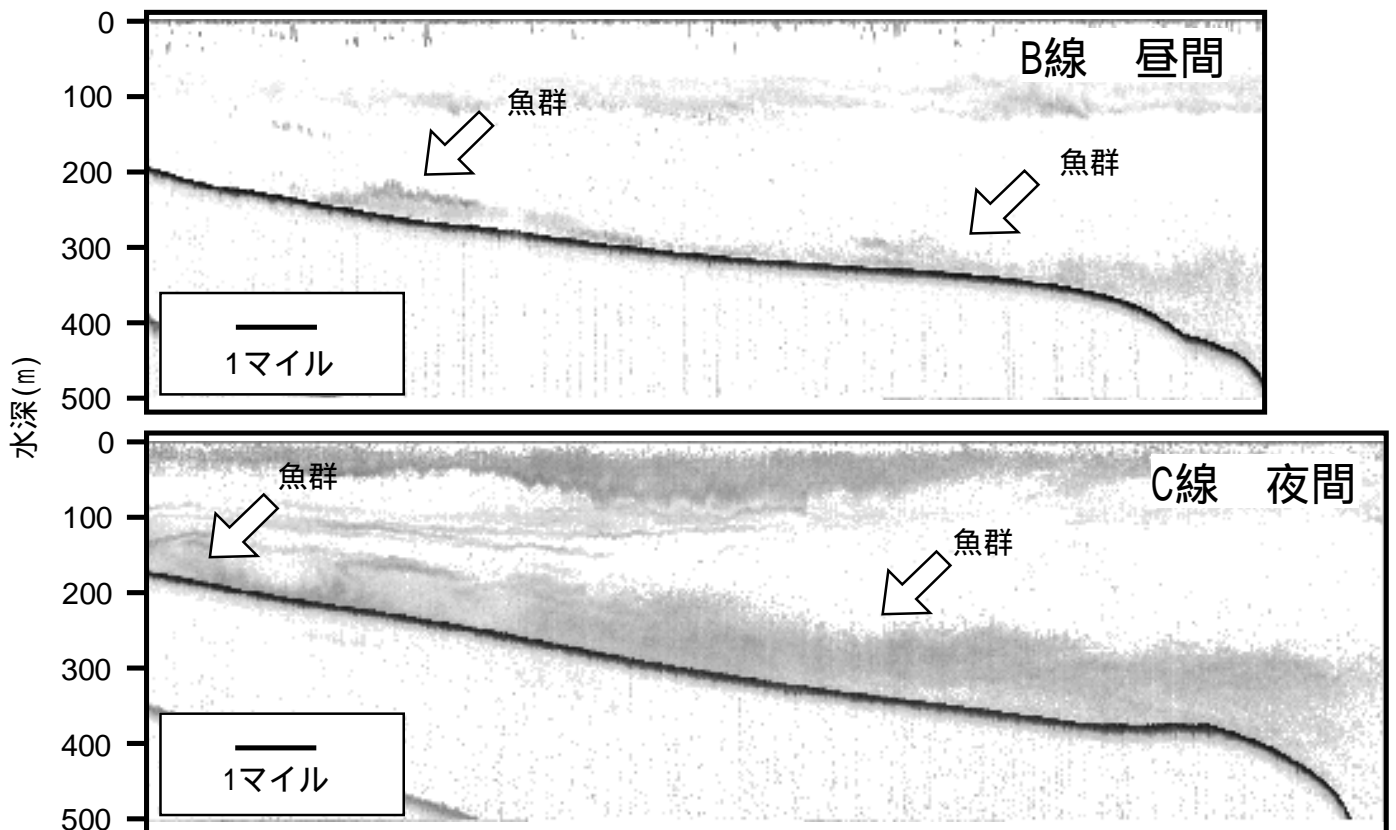


図2. 魚群の分布 (計量魚探画像)

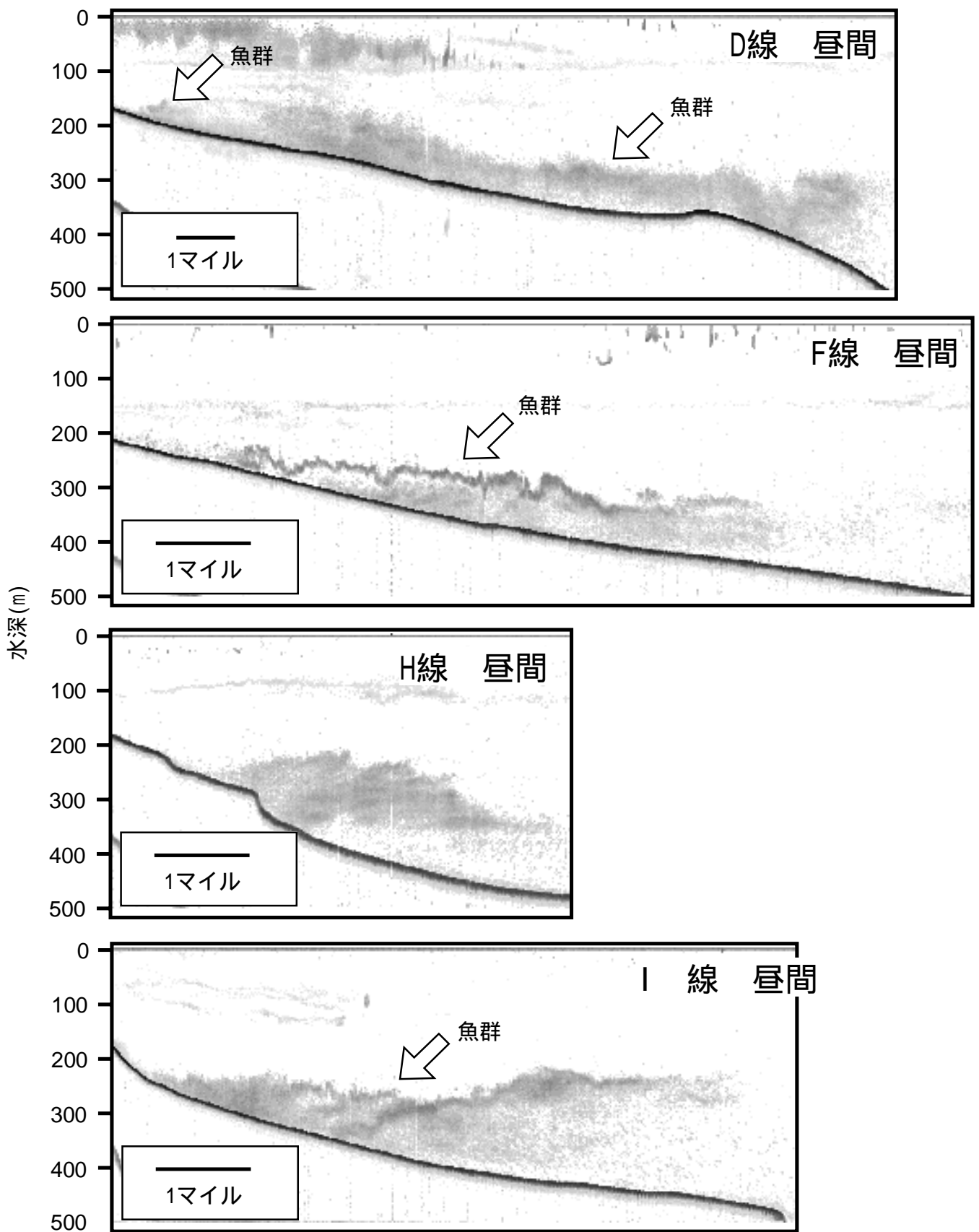


図3．魚群の分布（計量魚探画像）つづき

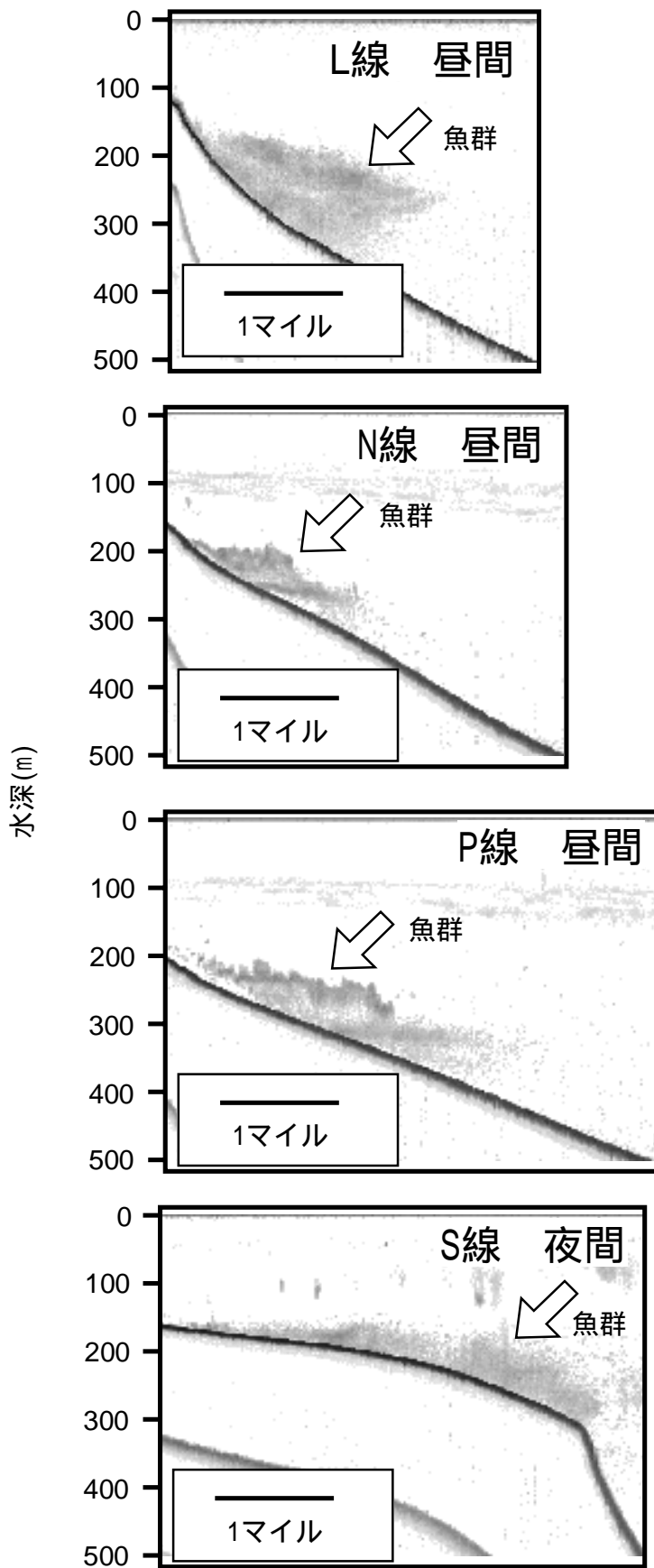


図4. 魚群の分布 (計量魚探画像) つづき